

Indicators Update

2011年11月21日 全10頁

10月貿易統計～輸出が足踏み

経済調査部 エコノミスト 長内 智

海外経済減速の影響が顕在化

[要約]

- **【概況】輸出は3ヶ月振りのマイナス**：2011年10月の貿易統計は、東日本大震災後の大幅な減少から着実に持ち直してきていた輸出が足踏みし、先行き不透明感が高まる内容であった。輸出金額は前年比▲3.7%と3ヶ月振りのマイナスとなり、市場コンセンサスも大きく下回った。海外経済の減速、円高の長期化などによって、輸出回復にブレーキが掛かった格好である。他方、輸入金額は、輸入価格の高止まりや原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加を背景に、前年比+17.9%と22ヶ月連続のプラス。この結果、貿易収支は▲2,738億円と2ヶ月振りの赤字となった。
- **【地域・品目別動向（名目）】電気機器の弱含みが続く**：主要品目別の輸出金額では、世界的なIT関連製品の需要鈍化の影響で「電気機器」が前年比▲12.3%と8ヶ月連続のマイナスとなった点が注目される。電気機器については、日本の輸出に先行する韓国と台湾の電子部品の出荷・在庫バランスが弱含み傾向にあることや、中国の電気機械の輸出が鈍化している点にも注意が必要であろう。また、「一般機械」が前年比▲5.7%と2ヶ月連続でマイナスとなった。アジア地域の景気減速の影響が顕在化し始めた可能性がある。
- **【今後の見通し】輸出は短期的に横ばい圏で推移**：輸出の先行きは、短期的に横ばい圏での動きとなる公算である。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）が低下傾向を続けていることから窺えるように、海外経済の減速が輸出の重石となっているためである。また、欧州の財政危機に伴う金融市場の混乱は实体经济へ波及し始めており、日本の輸出における下振れリスクとして強く意識する必要がある。タイの大洪水に関しては依然として不確実な要素が多いが、日本の輸出に対する影響はさほど深刻なものとはならないと想定する。

【概況】輸出は3ヶ月振りのマイナス

輸出回復にブレーキ

2011年10月の貿易統計は、東日本大震災後の大幅な減少から着実に持ち直してきていた輸出が足踏みし、先行き不透明感が高まる内容であった。輸出金額は前年比▲3.7%と3ヶ月振りのマイナスとなり、市場コンセンサス（同▲0.3%）も大きく下回った。輸出金額の季節調整値をみても、前月比▲3.5%と6ヶ月振りのマイナスとなった。海外経済の減速、円高の長期化などによって、輸出回復にブレーキが掛かった格好である。他方、輸入金額は、輸入価格の高止まりや原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要増加を背景に、前年比+17.9%と22ヶ月連続のプラス。この結果、貿易収支は▲2,738億円と2ヶ月振りの赤字となった。貿易収支の季節調整値をみても、▲4,579億円と赤字幅が拡大し、4月から7ヶ月連続で赤字が続く。また、輸入価格は前年比+11.2%と4ヶ月連続の2桁増と高い伸びが継続した。今夏以降、国際市況では資源価格が調整しているが、日本の資源輸入の単価（輸入金額/輸入数量）が高止まりしていることが背景にある。輸入価格の動向については引き続き注視する必要があると考えている。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)～輸入価格が高止まり

	2010年		2011年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
輸出金額	9.1	12.9	1.4	9.0	▲2.3	▲12.4	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.3	▲3.7	
コンセンサス												▲0.3	
DIR予想												▲2.7	
輸入金額	14.3	10.7	12.2	10.0	12.0	9.0	12.4	9.8	9.9	19.2	12.1	17.9	
輸出数量	9.1	11.4	2.3	9.2	▲3.3	▲11.6	▲10.8	▲2.7	▲5.3	0.9	1.5	▲4.0	
価格	▲0.1	1.4	▲0.9	▲0.2	1.0	▲0.9	0.5	1.1	2.0	1.9	0.9	0.3	
輸入数量	15.4	7.8	11.2	4.9	5.5	1.3	5.5	1.7	▲2.6	6.0	1.0	6.0	
価格	▲1.0	2.8	0.9	4.9	6.2	7.6	6.5	8.0	12.9	12.4	11.0	11.2	
貿易収支	1,576	7,196	▲4,794	6,503	1,863	▲4,677	▲8,573	673	679	▲7,796	2,962	▲2,738	

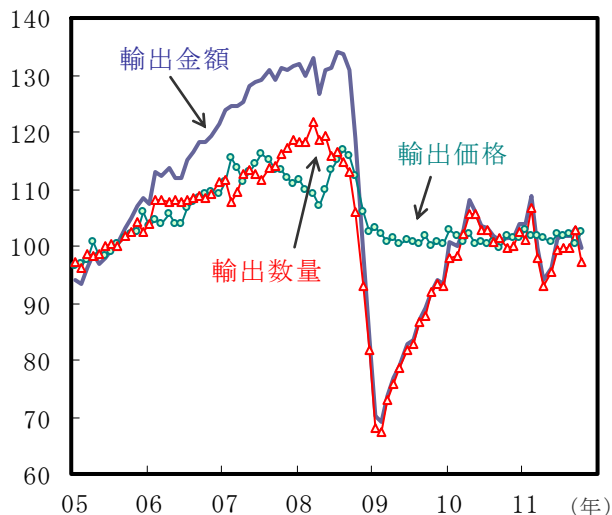
(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

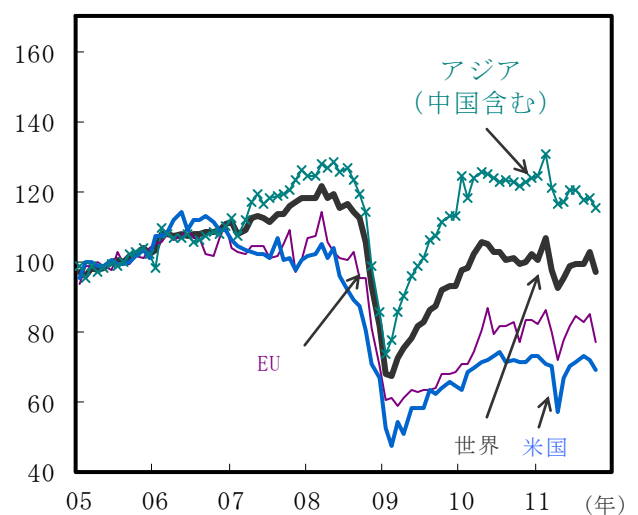
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移(季節調整値)～全ての地域で輸出数量が低下

(2005年=100) 金額・数量・価格



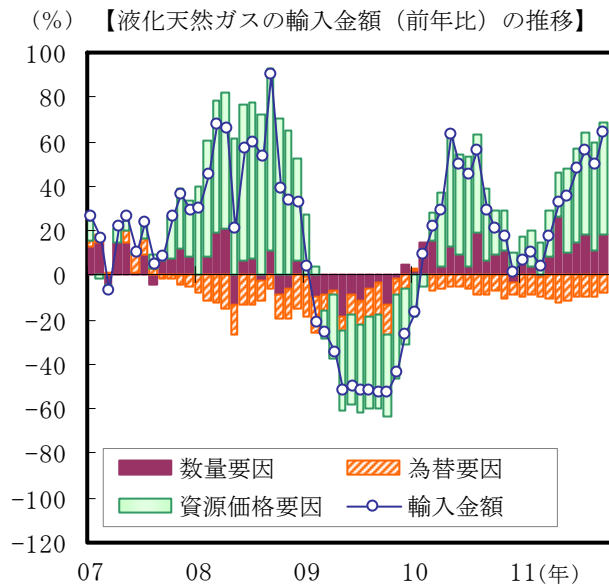
(2005年=100) 地域別の数量指数



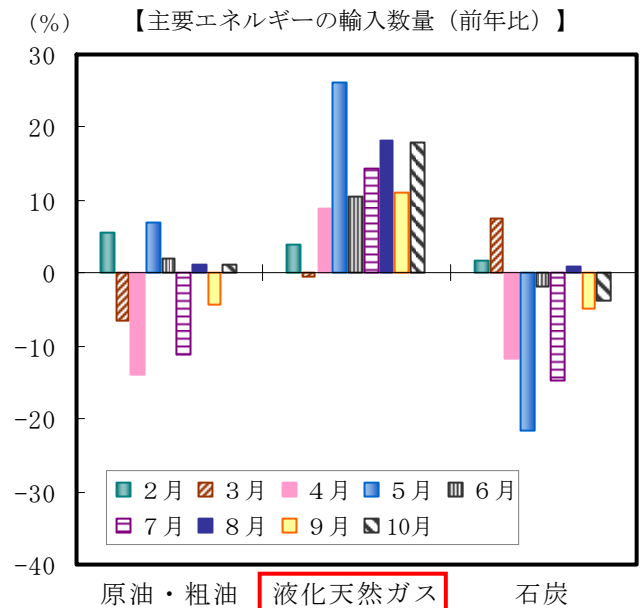
(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量 (前年比)



(注) 近似誤差により要因の合計は、全体と一致しない。
(出所) 財務省統計より大和総研作成



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【地域・品目別動向 (名目)】 電気機器の弱含みが続く

海外経済減速の影響が顕在化

主要品目別の輸出金額では、世界的な IT 関連製品の需要鈍化の影響で「電気機器」が前年比▲12.3%と8ヶ月連続のマイナスとなった点が注目される。電気機器については、日本の輸出に先行する韓国と台湾の電子部品の出荷・在庫バランスが弱含み傾向にあることや、中国の電気機械の輸出が鈍化している点にも注意が必要であろう。また、「一般機械」が前年比▲5.7%と2ヶ月連続でマイナスとなり、マイナス幅も9月(同▲0.6%)から拡大した。前月のレポートで指摘したように、アジア地域の景気減速の影響が顕在化し始めた可能性がある。

燃料価格が高止まり

輸入については、代替燃料の需要増加と価格高騰を背景に、「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+63.8%、輸入数量が同+17.9%と揃って大幅に増加した。他方、原油・粗油は、価格要因で輸入金額が前年比+33.4%と拡大基調が継続したが、輸入数量は同+1.1%と小幅な伸びに留まった。

タイの大洪水の影響は限定的であった

また、主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比▲2.3%(9月、同+0.4%)、EU向けが同▲2.9%(9月、同+7.1%)、アジア向けが同▲6.6%(9月、同+0.2%)と全ての国・地域でマイナスとなった。タイ向けの輸出金額は、前年比▲5.1%と大洪水の影響は限定的に留まった。また、欧州では、財政問題が深刻化している欧州周縁国を中心に新車販売が低迷しているが、EU向けの「輸送用機器」は前年比+21.1%と大幅に増加しており、その影響はまだ見られない。これは震災の影響で輸出できなかった分の反動が出ているためであるが、欧州の新車販売動向を踏まえると、今後は減少に転じる可能性がある。

【今後の見通し】輸出は短期的に横ばい圏で推移

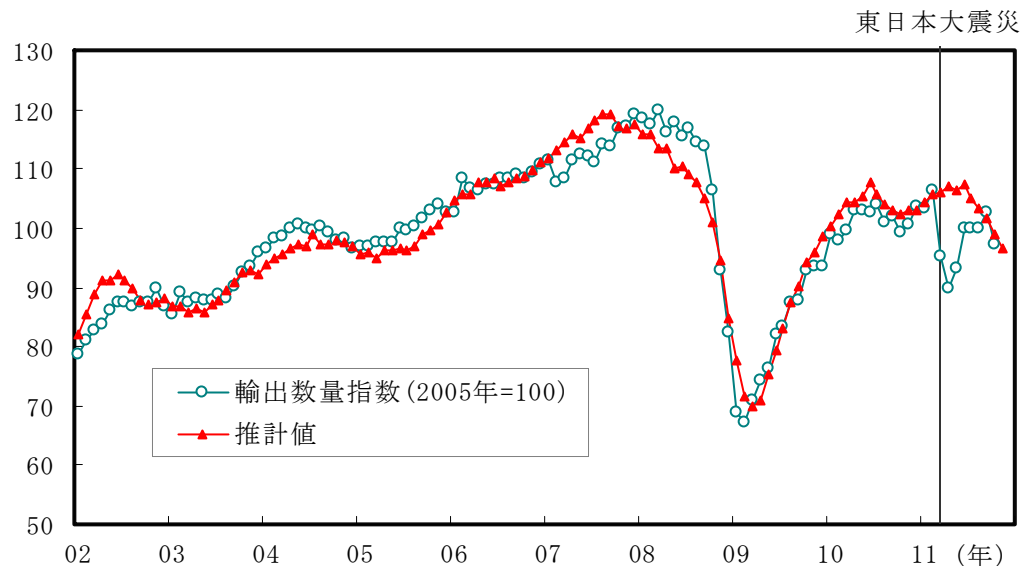
欧州財政問題が实体经济へ波及

輸出の先行きは、短期的に横ばい圏での動きとなる公算である。世界景気と為替からみた日本の輸出数量の推計値（当社推計）が低下傾向を続けていることから窺えるように、海外経済の減速が輸出の重石となっているためである。また、欧州の財政危機に伴う金融市場の混乱は实体经济へ波及し始めており、日本の輸出における下振れリスクとして強く意識する必要がある。タイの大洪水に関しては依然として不確実な要素が多いが、日本の輸出に対する影響はさほど深刻なものとはならないと想定する。先月のレポートで示したように、タイ向け輸出の比率（対世界）が4.4%程度であることに加え、今後は大洪水からの復旧の動きが出てくるためである。業種別では、欧米の景気減速を背景に、中国の電気機械の輸出が鈍化傾向にあるため、日本の電子部品・デバイスの需要はしばらく弱含み傾向が続くと考える。

貿易収支の改善は緩やかに留まろう

輸入価格は、今夏以降の資源価格の調整を受けて、徐々に増勢が弱まる見通しである。しかし、商品市場において原油先物価格が再び上昇していることや、液化天然ガスの輸入単価（輸入金額/輸入数量）が国際市況の水準と比べて上に乖離して推移している点には留意が必要である。輸入価格の高止まりと海外経済の減速による輸出鈍化を踏まえると、貿易収支の改善ペースは引き続き緩やかなものに留まると考えている。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数

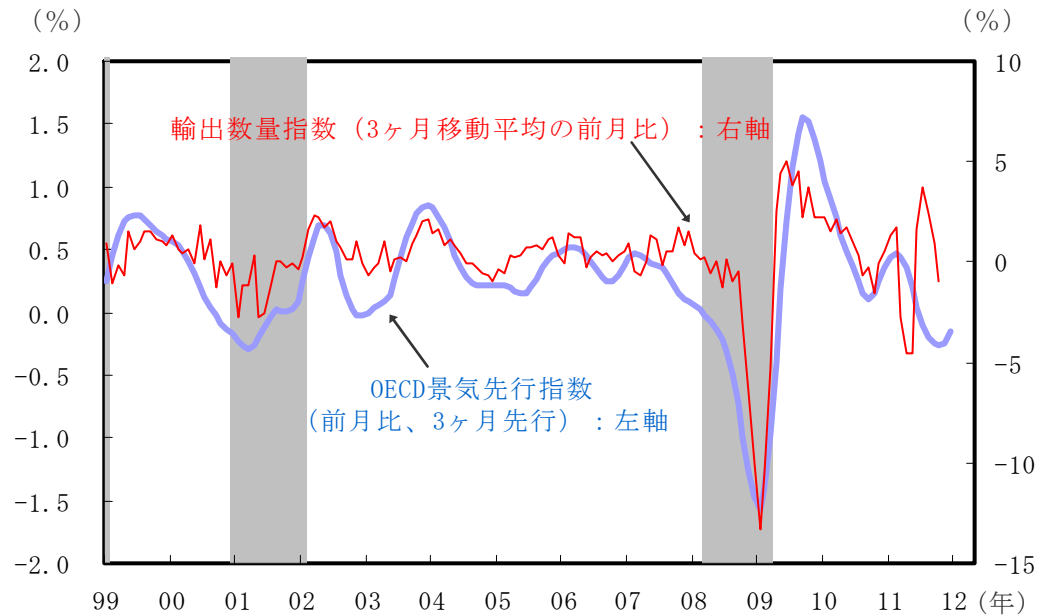


(注1) 輸出数量(推計値) = $-130.80 + 2.63 \times \text{OECD_CLI}[-2] + 0.18 \times \text{OECD_CLI_TR}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2]$

* 括弧内[]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～11年2月。
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。
OECD_CLI_TRは、トレンド復元ベースのCLI。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。
(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行統計より大和総研作成

図表 5 : OECD 景気先行指数と輸出数量指数 ~ 世界経済の減速傾向が続く



(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

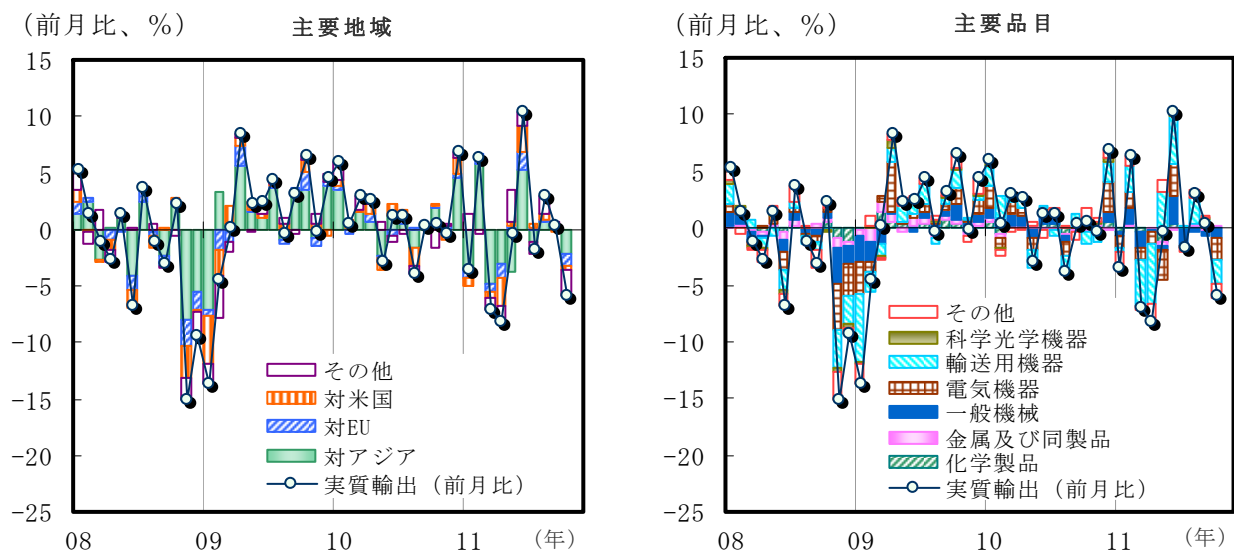
(注2) シャドーは景気後退期。

(出所) OECD、内閣府統計より大和総研作成

【参考】実質輸出の動向

実質輸出(季節調整値、当社試算)は、前月比▲5.9%と3ヶ月振りのマイナスとなった。主要国・地域別では、米国向けが前月比▲2.7%、EU向けが同▲8.6%、アジア向けが同▲4.0%と、全ての国・地域で減少に転じた。減少幅が目立つEU向けは、「電気機器」や「一般機械」が全体を押し下げた。

図表 6 : 実質輸出(季節調整済み前月比)の主要項目別の寄与度 ~ 輸送用機器と電気機器が下押し



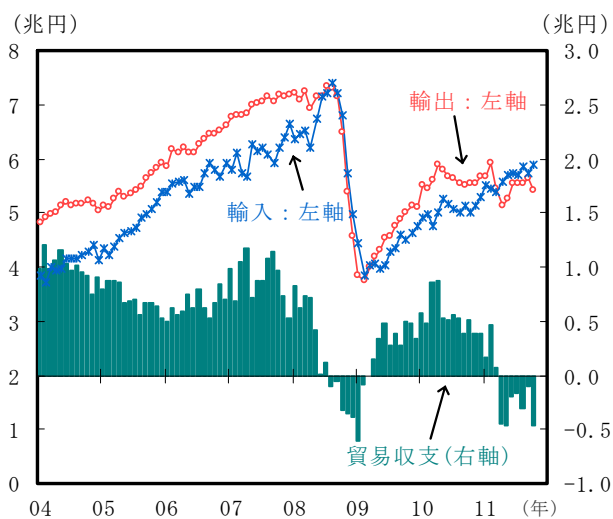
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

概況

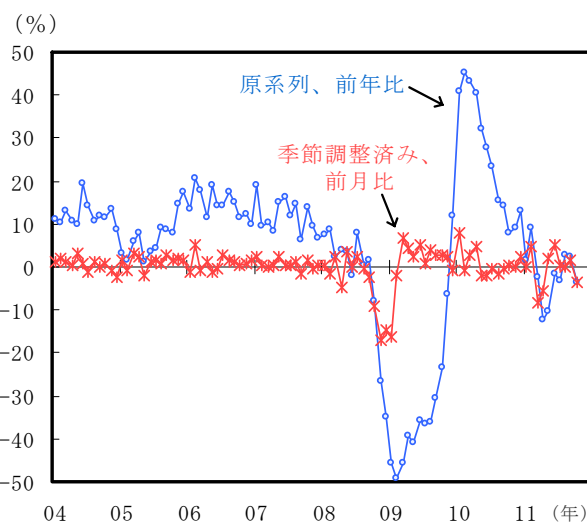
貿易収支（季節調整値）が7ヶ月連続の赤字となり、赤字幅も大きく拡大

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

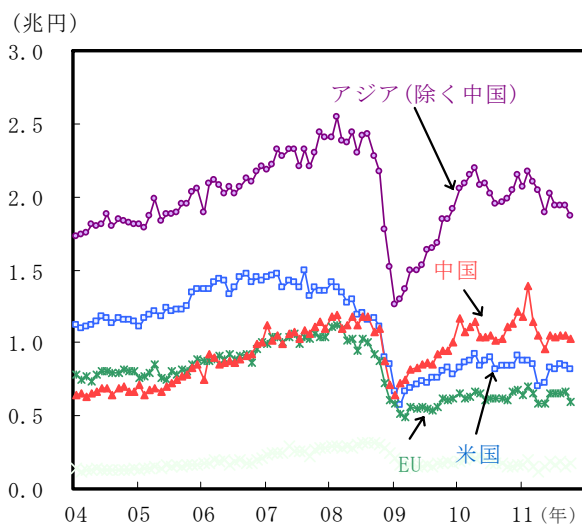


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）



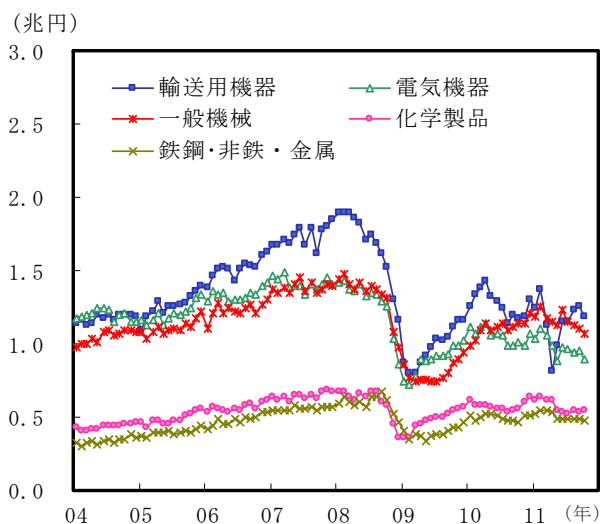
主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）



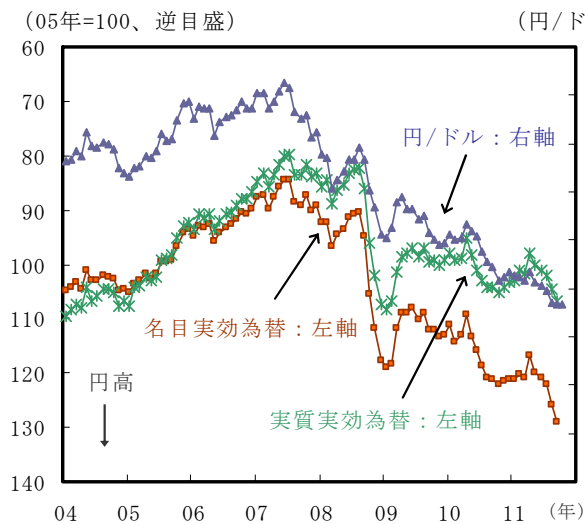
(注) 季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



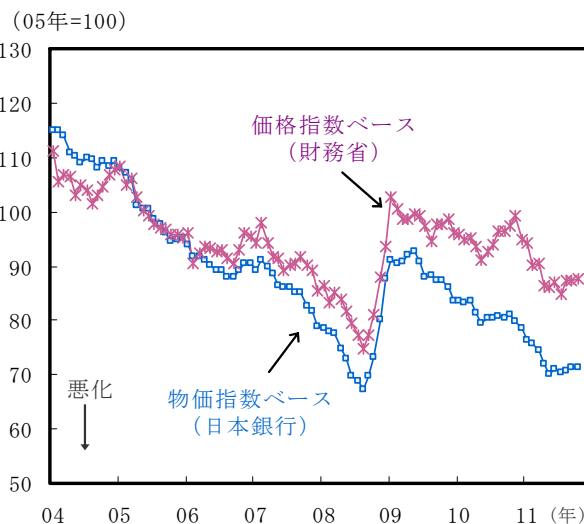
為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数(輸出物価指数/輸入物価指数)。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

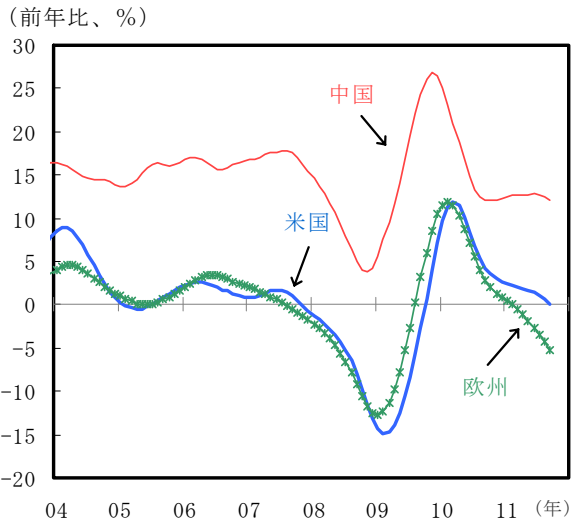
交易条件



海外環境

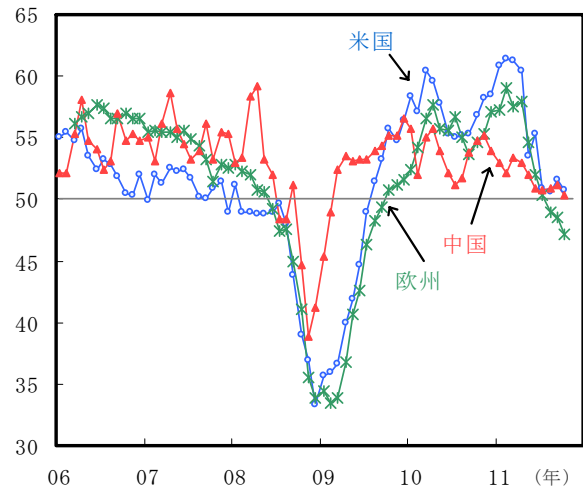
欧州に景気後退リスク

OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）

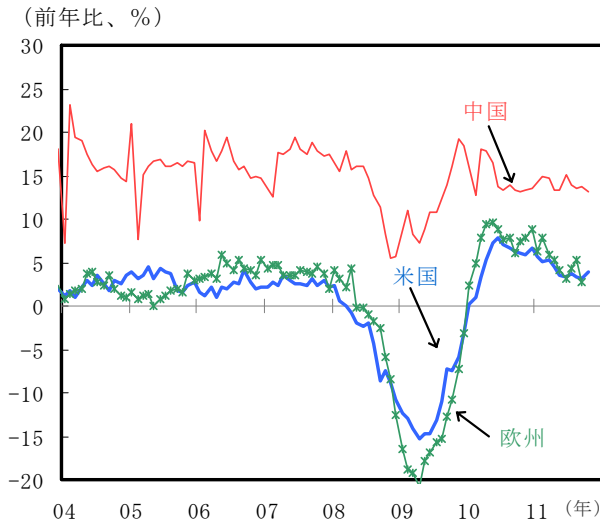


(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。
(出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

製造業PMI（米国・中国・欧州）

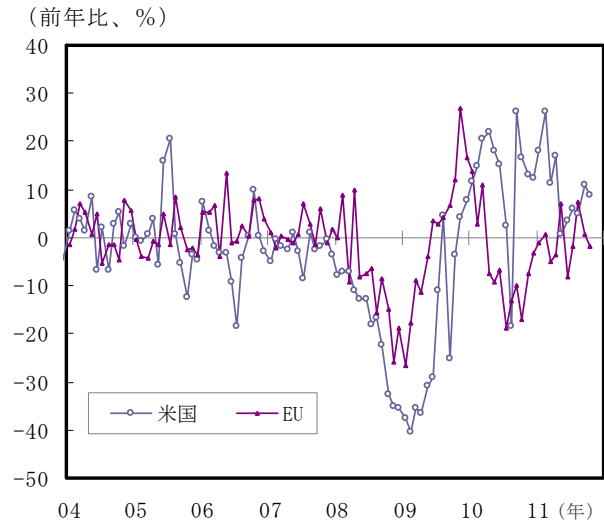


鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）

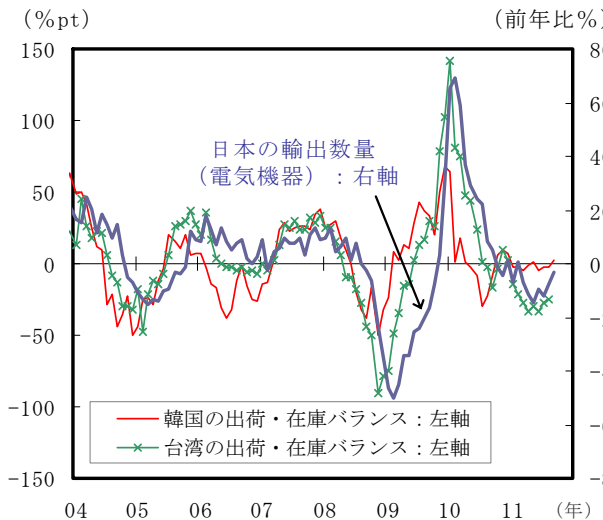


(出所) 中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

米国と欧州の自動車販売

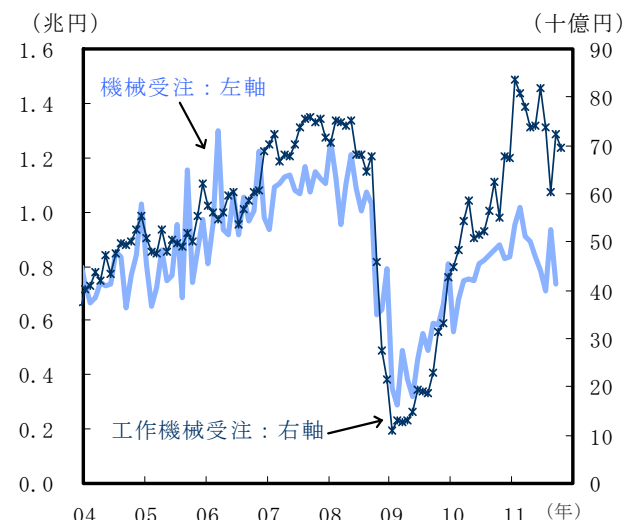


韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）



(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

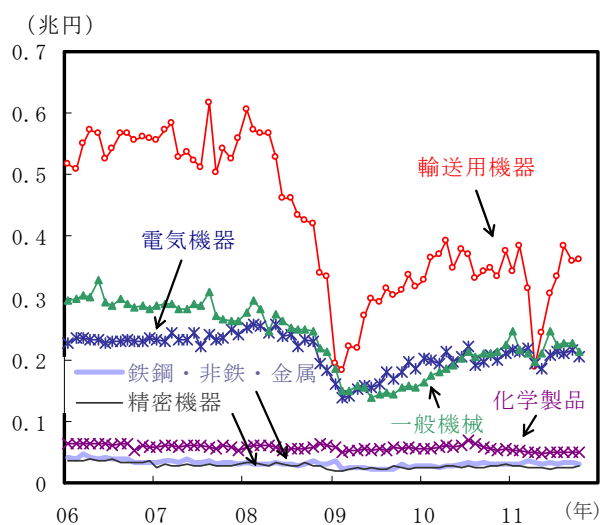
機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）



主要地域・国別の実質輸出(季節調整済み)

アジア向け一般機械の減速感が強まる

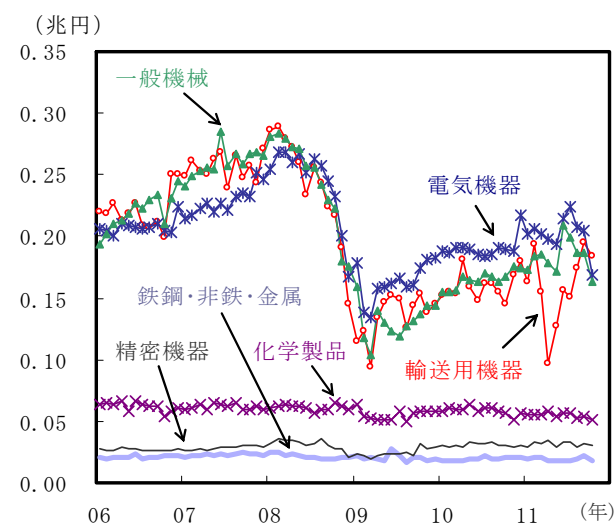
米国向け



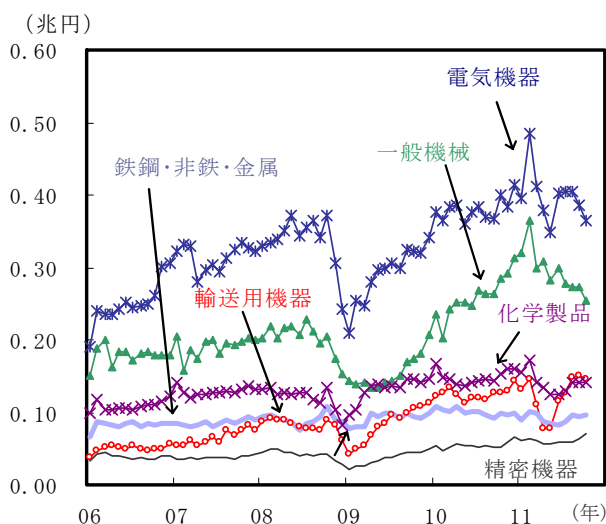
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

EU向け



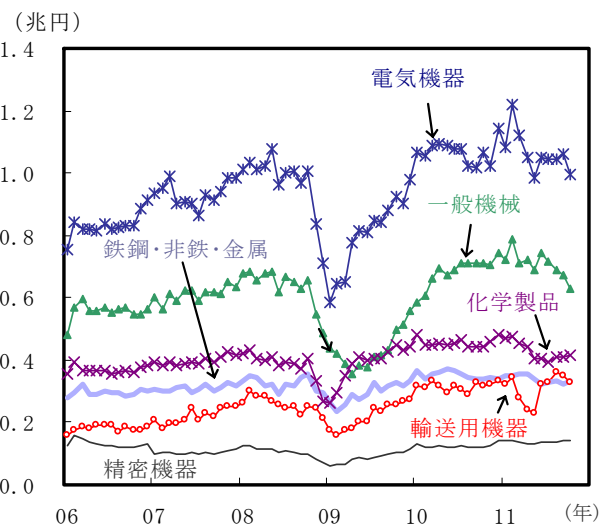
中国向け



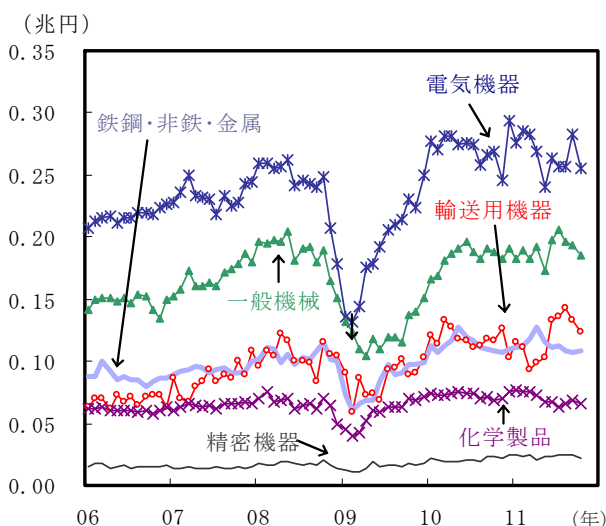
(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

アジア向け(中国含む)



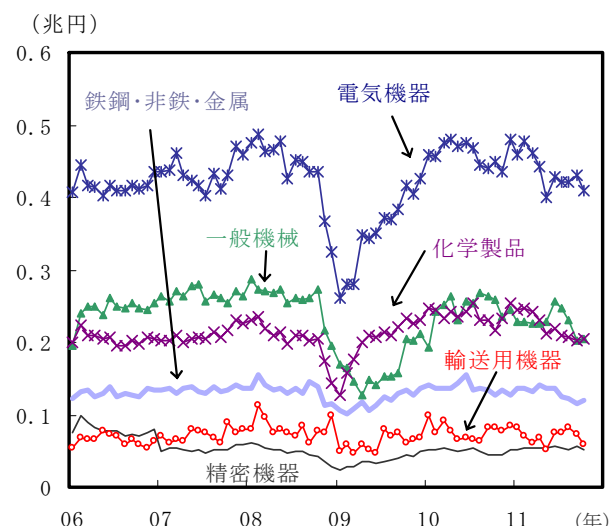
ASEAN向け



(注) 実質化と季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

NIES向け



輸出金額 内訳								
	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.3	▲1.6	▲3.4	2.8	2.3	▲3.7	100.0	▲3.7
食料品	▲22.2	▲2.6	▲12.4	▲9.7	▲12.6	▲29.1	0.5	▲0.2
原料品	▲11.6	10.2	18.9	11.8	17.0	▲2.5	1.3	▲0.0
鉱物性燃料	0.8	86.4	36.1	8.5	8.3	40.7	2.2	0.6
化学製品	▲5.4	▲4.5	▲6.5	0.2	▲1.4	▲2.6	10.0	▲0.3
原料別製品	▲5.1	▲3.3	▲1.2	2.2	1.4	▲0.4	13.1	▲0.1
鉄鋼	▲4.7	▲6.0	1.1	1.5	▲4.6	2.5	5.5	0.1
非鉄金属	▲16.8	▲7.1	▲1.4	5.4	13.6	▲0.6	1.9	▲0.0
金属製品	▲2.1	▲0.9	▲6.6	0.5	4.5	1.1	1.6	0.0
一般機械	3.7	11.0	1.3	2.6	▲0.6	▲5.7	20.0	▲1.2
電気機器	▲16.5	▲8.7	▲8.2	▲4.9	▲4.0	▲12.3	17.6	▲2.4
半導体等電子部品	▲18.5	▲17.1	▲15.0	▲16.4	▲9.0	▲20.8	5.0	▲1.3
I C	▲23.2	▲21.2	▲16.7	▲17.3	▲7.6	▲21.8	3.3	▲0.9
映像記録・再生機器	▲31.0	4.0	17.6	19.8	▲9.6	▲11.8	1.3	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲30.9	▲24.3	▲22.2	▲16.7	▲17.8	▲27.4	0.6	▲0.2
電気回路等の機器	▲16.6	▲5.1	▲10.6	0.3	2.2	▲8.2	2.6	▲0.2
輸送用機器	▲26.6	▲10.5	▲7.9	7.7	5.1	▲0.2	22.9	▲0.0
自動車	▲38.9	▲12.5	▲3.8	5.3	4.9	6.1	15.1	0.8
自動車の部分品	▲18.5	▲10.3	▲4.7	5.2	11.5	0.4	4.9	0.0
その他	▲6.3	2.1	▲1.7	8.9	14.2	▲1.2	12.3	▲0.1
科学光学機器	▲3.8	7.9	4.8	3.7	15.2	12.0	3.4	0.4

米国向け輸出金額 内訳								
	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲14.6	▲6.1	▲8.2	3.5	0.4	▲2.3	100.0	▲2.3
食料品	2.5	7.1	5.8	3.6	▲10.0	▲5.6	0.5	▲0.0
原料品	▲32.3	▲41.2	▲3.3	▲22.3	▲7.2	▲5.0	0.5	▲0.0
鉱物性燃料	▲60.9	101.2	▲29.5	▲36.6	▲91.3	890.9	0.9	0.8
化学製品	▲11.6	▲10.4	▲19.8	▲9.7	▲6.9	▲6.4	5.9	▲0.4
原料別製品	5.3	4.3	▲5.2	▲0.6	4.6	▲0.6	6.9	▲0.0
鉄鋼	7.6	26.8	5.0	14.6	13.0	14.0	1.8	0.2
非鉄金属	▲1.1	17.3	13.1	7.9	2.2	▲10.6	0.5	▲0.1
金属製品	9.1	▲9.2	▲14.9	0.2	13.5	12.2	1.7	0.2
一般機械	7.1	17.8	3.3	8.4	4.5	▲1.1	22.9	▲0.2
電気機器	▲14.0	▲7.6	▲10.3	1.5	0.8	▲8.2	15.4	▲1.3
半導体等電子部品	▲19.9	▲29.8	▲14.7	▲11.7	9.2	▲14.5	2.1	▲0.4
I C	▲23.0	▲38.3	▲18.7	▲13.1	13.1	▲17.1	1.3	▲0.3
映像記録・再生機器	▲40.0	▲0.3	12.2	25.0	▲4.0	▲19.4	2.1	▲0.5
音響・映像機器の部分品	▲32.7	▲24.2	▲18.2	80.1	▲16.0	▲13.4	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	▲18.5	▲18.3	▲29.4	▲10.4	▲7.8	▲5.0	1.5	▲0.1
輸送用機器	▲33.0	▲20.0	▲11.5	10.2	0.5	▲1.0	37.1	▲0.4
自動車	▲43.5	▲23.6	▲14.4	15.3	▲4.6	▲0.8	27.6	▲0.2
自動車の部分品	▲22.5	▲20.1	▲11.0	▲9.2	15.5	▲7.4	6.5	▲0.5
その他	▲10.8	▲6.2	▲12.1	▲0.2	▲1.5	▲6.7	9.8	▲0.7
科学光学機器	▲16.3	▲12.6	▲7.1	▲5.8	▲0.4	0.8	2.8	0.0

EU向け輸出金額 内訳								
	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.8	8.0	6.0	6.0	7.1	▲2.9	100.0	▲2.9
食料品	▲24.7	47.9	▲1.7	▲19.1	22.5	▲14.4	0.2	▲0.0
原料品	24.8	20.9	34.9	4.4	81.4	▲9.2	0.8	▲0.1
鉱物性燃料	▲78.2	809.3	▲96.2	▲95.5	▲97.1	▲95.9	0.0	▲1.1
化学製品	▲10.8	3.4	4.3	▲3.3	1.3	▲6.2	8.0	▲0.5
原料別製品	4.0	8.6	1.8	6.8	15.8	0.6	7.3	0.0
鉄鋼	34.1	▲14.7	▲27.1	▲0.7	4.2	▲8.3	1.3	▲0.1
非鉄金属	▲54.6	1.3	28.7	10.7	100.9	▲8.0	0.7	▲0.1
金属製品	10.3	9.9	▲8.5	5.4	▲1.4	▲1.6	1.3	▲0.0
一般機械	1.4	24.4	15.0	9.3	11.3	▲4.4	24.2	▲1.1
電気機器	▲7.4	5.3	12.7	2.6	▲1.5	▲15.8	19.3	▲3.5
半導体等電子部品	▲5.0	▲0.2	▲5.8	▲21.0	▲28.3	▲33.8	2.9	▲1.4
I C	▲29.6	▲16.2	▲6.4	▲12.6	▲19.9	▲18.2	1.4	▲0.3
映像記録・再生機器	▲25.1	14.1	29.8	8.3	▲8.7	▲30.1	2.4	▲1.0
音響・映像機器の部分品	▲25.0	▲31.6	▲11.0	▲42.2	▲47.0	▲52.1	0.6	▲0.6
電気回路等の機器	▲6.9	1.7	11.1	10.8	6.3	▲7.2	1.7	▲0.1
輸送用機器	▲23.0	2.7	▲9.0	3.6	20.4	21.1	24.7	4.2
自動車	▲35.8	1.5	▲5.7	7.4	31.9	25.1	15.6	3.0
自動車の部分品	3.0	9.7	3.4	2.7	9.4	5.4	6.0	0.3
その他	▲13.3	▲5.3	15.5	20.3	0.7	▲4.6	15.4	▲0.7
科学光学機器	▲17.6	0.5	3.1	▲16.7	3.2	▲1.2	4.4	▲0.1

アジア向け輸出金額 内訳								
	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.7	▲1.7	▲2.8	0.3	0.2	▲6.6	100.0	▲6.6
食料品	▲26.2	▲7.3	▲15.3	▲10.7	▲13.6	▲33.2	0.6	▲0.3
原料品	▲14.2	14.0	20.3	16.1	11.3	▲2.1	2.0	▲0.0
鉱物性燃料	28.0	105.7	49.3	16.1	29.9	20.5	2.4	0.4
化学製品	▲2.9	▲3.1	▲4.6	1.9	0.5	▲1.4	13.8	▲0.2
原料別製品	▲6.8	▲6.3	▲2.2	1.9	0.5	▲2.1	17.3	▲0.4
鉄鋼	▲3.8	▲9.0	▲1.0	▲0.4	▲5.5	▲1.5	7.9	▲0.1
非鉄金属	▲17.2	▲8.7	▲3.8	7.1	11.1	1.6	3.2	0.0
金属製品	▲8.4	▲2.7	▲1.9	1.4	5.1	▲0.4	1.9	▲0.0
一般機械	▲1.2	4.5	▲1.2	▲4.9	▲8.4	▲13.5	19.6	▲2.9
電気機器	▲18.1	▲11.0	▲10.4	▲6.8	▲3.9	▲12.7	21.5	▲2.9
半導体等電子部品	▲19.3	▲17.5	▲15.9	▲15.8	▲7.9	▲20.3	7.7	▲1.8
I C	▲22.7	▲19.9	▲16.7	▲17.6	▲8.1	▲22.3	5.3	▲1.4
映像記録・再生機器	▲26.1	3.4	13.3	22.1	▲15.7	14.7	1.0	0.1
音響・映像機器の部分品	▲28.6	▲18.6	▲18.2	▲7.3	10.7	▲14.1	0.8	▲0.1
電気回路等の機器	▲18.2	▲2.9	▲8.4	0.4	4.2	▲9.0	3.7	▲0.3
輸送用機器	▲24.8	▲1.9	4.2	18.1	3.7	▲0.6	9.3	▲0.1
自動車	▲27.6	▲2.3	9.4	13.9	10.1	18.3	4.5	0.6
自動車の部分品	▲25.8	▲10.4	0.9	13.3	13.3	0.7	4.2	0.0
その他	▲6.2	0.3	▲4.8	2.7	12.3	▲2.4	13.2	▲0.3
科学光学機器	2.9	6.9	5.6	7.8	17.7	18.6	4.1	0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2011/05	2011/06	2011/07	2011/08	2011/09	2011/10		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲8.1	1.2	▲1.0	2.4	2.7	▲7.7	100.0	▲7.7
食料品	▲67.6	▲52.4	▲59.3	▲35.8	▲54.0	▲74.4	0.2	▲0.5
原料品	▲6.2	22.9	17.4	17.9	10.4	▲0.8	2.9	▲0.0
鉱物性燃料	▲17.9	183.2	▲2.7	▲32.1	▲4.3	11.0	1.6	0.1
化学製品	▲1.3	▲4.9	0.8	7.2	7.4	▲2.9	13.3	▲0.4
原料別製品	▲10.9	▲11.2	▲6.1	3.2	6.6	▲1.3	14.6	▲0.2
鉄鋼	▲0.3	▲13.5	▲6.2	2.8	2.7	▲5.8	5.0	▲0.3
非鉄金属	▲35.3	▲23.0	▲12.7	9.3	18.8	6.5	3.2	0.2
金属製品	▲9.4	▲7.4	▲9.0	3.8	5.2	1.4	1.8	0.0
一般機械	7.8	16.8	1.8	1.5	0.9	▲13.5	22.1	▲3.2
電気機器	▲12.2	▲2.7	▲2.4	▲0.1	▲3.6	▲14.6	21.8	▲3.4
半導体等電子部品	▲1.6	▲0.8	0.2	▲7.1	▲1.3	▲21.9	6.9	▲1.8
I C	▲2.8	▲0.5	4.0	▲7.0	2.3	▲25.1	4.8	▲1.5
映像記録・再生機器	▲24.9	▲6.2	▲1.4	24.4	▲30.4	29.1	1.4	0.3
音響・映像機器の部分品	▲2.8	2.2	1.1	19.1	29.0	▲1.4	1.0	▲0.0
電気回路等の機器	▲23.0	▲2.6	▲10.5	▲0.2	▲2.2	▲8.7	4.1	▲0.4
輸送用機器	▲33.4	▲8.1	3.8	21.0	13.1	10.7	11.3	1.0
自動車	▲40.1	▲7.5	▲2.0	14.7	7.7	13.9	5.3	0.6
自動車の部分品	▲31.4	▲11.7	8.8	23.6	15.6	6.5	5.7	0.3
その他	▲11.8	▲4.7	▲5.9	▲7.2	1.3	▲9.4	12.2	▲1.2
科学光学機器	▲1.2	4.1	9.0	5.7	21.4	31.3	5.8	1.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成